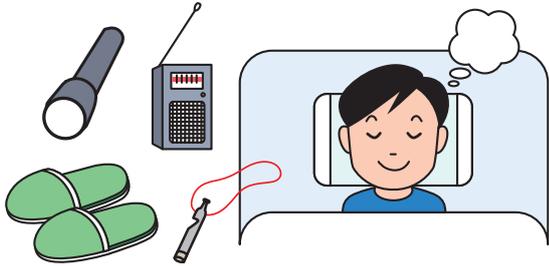


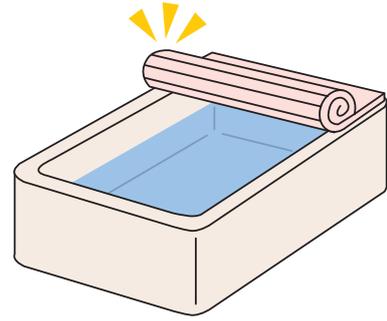
<夜、地震が起きたときのため>

身近なところに、懐中電灯、ラジオ、スリッパ(靴)、笛(ホイッスル)などを置く。
笛は、助けを呼ぶ時に、自分の所在を知らせる手段として大変重宝します。



<多目的に水を使いたいとき>

- お風呂にはってある水
- 水洗トイレのタンク内の水



<赤ちゃんのいる家庭では>

- ミルク
- 哺乳びん
- 離乳食
- スプーン
- おむつ
- 清浄綿
- おぶい紐
- バスタオルまたはベビー毛布
- ガーゼまたはハンカチ



<妊婦さんのいる家庭では>

- 脱脂綿
- ガーゼ
- さらし
- T字帯
- 清浄綿及び新生児用品
- ちり紙
- ビニール風呂敷
- 母子手帳
- 新聞紙



寝たきり、高齢者、障がい者など、要援護者のいる家庭

●情報連絡カードの携帯

治療や薬剤、疾病などに關する情報を、情報連絡カードに明記する。



●必要な備品の追加

常服薬や日頃使用している物を、非常持出し品の中にも準備。



●地域の防災訓練への参加、地域との連携

要援護者が家庭にいることを、地域の住民、行政などに知らせておく。要援護者台帳への登録。地域の防災訓練などに参加し、連携を図る。隣近所との協力体制をつくる。

